# 【報告部会】 第三回日中平和学対話

東アジア新時代の展望~日中平和学の可能性~

日本平和学会 第23期国際交流委員会企画·運営

#### 第三回日中平和学対話プログラム 第三次中日和平学对话会日程 THE THIRD JAPAN-CHINA PEACE STUDIES DIALOGUE

#### テーマ/主题:

東アジア新時代の展望:日中平和学の可能性展望东亚新时代:中日和平学的可能性THE VISION FOR THE NEW ERA IN EAST ASIA: POSSIBILITIES OF JAPAN-CHINA PEACE STUDIES

2019年2月21-23日

#### 日本側主催者/日本主办方:

- 1. 日本平和学会/日本和平学会/Peace Studies Association of Japan
- 2. 立命館大学国際地域研究所/立命馆大学国际关系学院/Institute of International Relations and Area Studies, Ritsumeikan University

#### 中国側主催者/中国主办方:

- 1. チャハル学会/察哈尔学会/The Charhar Institute
- 2. 南京大虐殺史と国際平和研究所/南京大屠杀史与国际和平研究院/Institute of Nanjing Massacre History and International Peace
- 3. 南京大学平和学国連ユネスコチェア/南京大学 联合国教科文组织和平学教席/UNESCO Chair on Peace Studies at Nanjing University

# 2019年2月21日会議1日目午前

# 一般公開 公开会议 OPEN TO PUBLIC

9:40~10:05

主催者挨拶/主办方致辞/Greetings by organisers

日本側主催者/日本主办方

• 1. 日本平和学会/日本和平学会/Peace Studies Association of Japan

黒田俊郎/KURODA Toshiro

2. 立命館大学国際地域研究所/立命馆大学国际关系学院/Institute of International Relations and Area Studies, Ritsumeikan University

君島東彦/KIMIJIMA Akihiko

10分(5分x2)

# 2019年2月21日会議1日目 午前

# 一般公開 公开会议 OPEN TO PUBLIC

9:40~10:05

主催者挨拶/主办方致辞/Greetings by organisers

#### 中国側主催者/中国主办方:

- 1. チャハル学会/察哈尔学会/The Charhar Institute 韓方明/韩方明/HAN Fangming
  - → <u>柯银斌/ Ke Yinbin</u>
- 2. 南京大虐殺史と国際平和研究所/南京大屠杀史与国际和平研究院/Institute of Nanjing Massacre History and International Peace

張建軍/张建军/ZHANG Jianjun

3. 南京大学平和学国連ユネスコチェア/南京大学联合国教科文组织和平学教席/UNESCO Chair on Peace Studies at Nanjing University

劉成/刘成/LIU Cheng

10:05~10:15

プログラム説明/日程说明 Explanation of the programme

日本平和学会国際交流委員会/日本和平学会国际交流委员会 /PSAJ International Exchange Committee

奥本京子 OKUMOTO Kyoko

#### 【会議における役割】

#### 会議メイン通訳

小田美佐子、楊秋麗



#### ファシリテーター

清水奈名子、佐伯奈津子、高部優子、奥本京子

#### 翻訳•通訳

加治宏基、和田英穂、楊小平



#### 会議・会場補佐

申 鉉旿、田村あずみ

#### 会議準備

日本平和学会国際交流委員会 同上 賛助会員 中央学立命館大学国際地域研究所(西村明美) 立命館大学国際地域研究所

#### 資金協力

日本平和学会 同上 賛助会員 創価学会 同上 賛助会員 中央学術研究所 立命館大学国際地域研究所

# 基調講演酒井 直樹 教授/PROF. SAKAI NAOKI CORNELL UNIVERSITY, USA

10:15~11:30

【タイトル】

下請けの帝国: ひきこもりの国民主義と内向する社会 附属帝国: "自闭式"民族主义与内向型社会 An Empire under Subcontract—The Nationalism of Hikikomori (reclusive withdrawal) and an Inward-Looking Society





### 第3回日中平和学対話



#### 基調講演



#### 「下請けの帝国――ひきこもりの国民主義と内向する社会」

敗戦後日本はバックス・アメリカーナに組み込まれて、米国の世界支配の「下請けの帝国」となりました。戦後日本は米国との関係においては従属的な地位にありますが、旧植民地・支配地域への優越感・差別意識を保持し続けて、帝国意識を残存させてきました。しかし、バックス・アメリカーナの衰退期・黄昏期を迎え、東アジアのバワーシフト(日中の国力の逆転、他のアジア諸国の台頭)に直面しているいま、日本人の帝国意識は「ひきこもり」(現実逃避の自己賛美)と「排外主義」(ヘイトスピーチ)に向かっています。この精神構造の分析と、それを克服するための方向性について、酒井氏に語っていただきます。酒井氏の問題提起を受けて、中国の研究者とともに、米国・日本・東アジアの関係について議論したいと思います。

講師: 酒井直樹氏 (コーネル大学教授)

日時: 2019年2月21日 (木) 9:30~12:30

会場: 立命館大学 大阪いばらきキャンパス

C棟3F·C373教室



#### 講師プロフィール:

さかい なおき。1946年生まれ。東京大学文学部卒業、シカゴ大学で博士号を取得。現在、コーネル大学人文学部教授。専門は日本思想史。日本語の著作として、『希望と憲法——日本国憲法の発話主体と応答』(以文社、2008年)、『死産される日本語・日本人——「日本」の歴史-地政的配置』(講談社学術文庫、2015年)、『ひきこもりの国民主義』(岩波書店、2017年)等。

お問い合わせ】 立命館大学国際地域研究所 EL: 075-466-3335/ Emalikokuchi#stritsumel.ac.jo Co-Hosted by

Institute of International Relations and Area Studies, Ritsumeikan University PSAJ, Peace Studies of Association of Japan
The Charhar Institute

UNESCO Chair on Peace Studies at Nanjing University Institute of Nanjing Massacre History and International Peace













# 2019年2月21日 会議1日目 午後

# クローズド 闭门会议 CLOSED SESSION

14:10~15:10

第1分科会:日本の歴史修正主義の問題について/日本历史修正主义问题的批判/ Criticism on Japanese Historical Revisionism

· 苏智良/蘇智良/SU Zhiliang,

上海師範大學人文與傳播學院院長、中國慰安婦問題研究中心主任/Professor of Shanghai Normal University, Chairman of the Academic Committee of Shanghai Normal University and vice chairman of the University Affairs Committee

·加治宏基/KAJI Hiromoto,

日本平和学会国際交流委員会委員/PSAJ International Exchange Committee member、愛知大学/Aichi University

## 2019年2月22日 会議2日目 午前

クローズド 闭门会议 CLOSED SESSION 9:40~10:40

第2分科会:東アジアの現状認識・朝鮮半島の新しい動きにどうアプローチするか/东亚现状与朝鲜半岛新问题/The Current Situation in East Asia with a New Movement in Korean Peninsula

·朱锋/ ZHU Feng 【変更】

察哈尔学会高级研究员、南京大学国际关系研究院院长、南京大学中国南海研究协同创新中心执行主任

•君島東彦/KIMIJIMA Akihiko,

日本平和学会第22期会長/PSAJ the 22nd President、立命館大学/Ritsumeikan University

(30分X2人)

# 2019年2月22日 会議2日目 午後

# クローズド 闭门会议 CLOSED SESSION

14:10~15:10

第3分科会: 平和学のディシプリンについて/和平学的学科问题/Disciplines of Peace Studies

·刘成/劉成/LIU Cheng,

南京大學歷史學院教授、聯合國教科文組織和平學教席主持人/Professor of Nanjing University, Holder of UNESCO Chair on Peace Studies at Nanjing University

•佐々木寛/SASAKI Hiroshi,

日本平和学会第21期会長/PSAJ the 21st President、新潟 国際情報大学/Niigata University of International and Information Studies

(30分X2人)





東アジア新時代の展望。日中平和学の可能性 展望东亚新时代:中日和平学的可能性 THE VISION FOR THE NEW ERA IN EAST ASIA: POSSIBILITIES OF JAPAN-CHINA

2019年2月21-23日

#### 日本領主宣告/日本主办方:

- 1. 日本平和学会/日本和平学会/Peace Studies Association of Japan
- 2. 立命黎大学国際地址研究所/立命領大學問題 天系学院/Institute of International Relations

#### 中国領主報告/中国主か方:

- 1. 于ヤハル学会/柳哈尔学会/The Charlos
- 2. 南京大府設立と国際平和研究所/南京大路系史 与国际电子研究及/Irralitute of Norging Massacre History and International Peace























